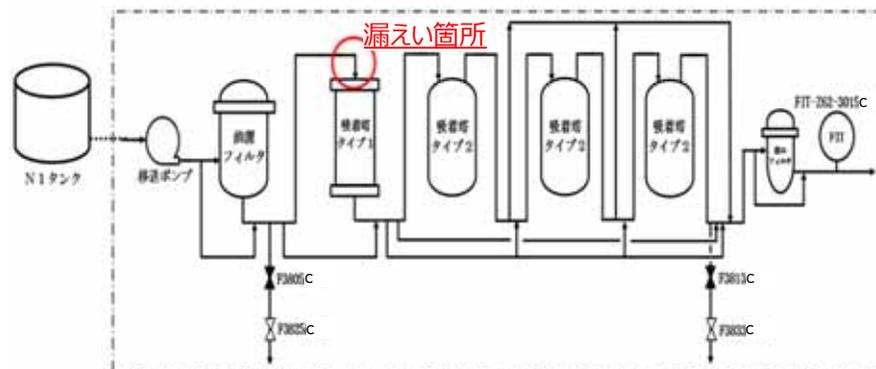


# 福島第一原子力発電所 5・6号機滞留水貯留設備 浄化ユニットC配管フランジ部からの水の漏えいについて

< 参 考 資 料 >  
2020年8月14日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

## 【概要】

- 本日（8月14日）午前10時2分頃、5・6号機滞留水貯留設備浄化ユニットCの配管フランジ部から水が漏えいしていることを、当社社員が発見しました。
- 当社社員は現場確認に合わせ、浄化ユニットC移送ポンプ入口弁および吸着塔入口弁の閉操作を実施し、漏えいが停止したことを確認しています。
- 漏えいした水は5・6号機タービン建屋地下階の滞留水であり、漏えい量は約23m<sup>3</sup>と推定しております。また、漏えいした水の分析結果は以下の通りです。  
セシウム137:2.6Bq/L、全ベータ:1.1×10<sup>1</sup>Bq/L  
(セシウム134：検出限界未満 (ND値5.9×10<sup>-1</sup>Bq/L) )
- なお、漏えいした水は堰内に留まっていること、敷地境界モニタリングポストや連続ダストモニタに有意な変動がないことを確認しており、外部への影響はありません。
- 漏えい箇所については念のため養生を実施し、漏えいした水については、回収・移送作業を午後3時38分に完了しております。
- 今後、漏えいした原因を調査し、適切に再発防止対策を講じてまいります。



【5・6号機滞留水貯留設備浄化ユニットC系統構成図】



浄化ユニット内の吸着塔(漏えい箇所)

【現場写真】